

## 圏外のアンテナ

[清正の井戸]の巻

連休明け、ある料理研究家の方にインタビューする仕事があった。先方に指定された場所が、明治神宮内の茶店だったので驚いた。今まで、著名人のインタビューといえば、いちょう並木の洒落たカフェとかが、定番だったからである。

ひょっとしたら、神社仏閣へのハードルが下がってきているのかもしれない。

無事に仕事を終えたわたしは、そうだ「井戸」に行こう！とひらめいた。ふと、友人のMちゃんの話思い出したのだ。

その話というのはこうである…。

おととしの2月14日（バレンタイン・デイ）、多忙で初詣に出遅れていたMちゃんは、その日ようやく、新年の祈とうを受け、ついでに御苑の奥に静かにひそむ井戸に立ち寄った。その名も「清正の井戸」である。この地に屋敷のあった戦国武将、加藤清正が掘ったと伝えられるパワースポットだ。

だが、そこには先客がいた。今にも雪が落ちてきそうな寒空の下、1人の女性が、鬼気迫る表情で、綺麗にデコレートされたチョコの箱の入った密閉袋（ジップロック）を、何度も井戸に浸していたという。

「怖かった～。あれは、重いわ～」と、ゾ～ッとした顔でMちゃんは話してくれたが、それほどのパワースポット、ぜひこの目で見てみたい！とわたしは考えたのだった。

御苑の入り口で入場料を払い、昼なお暗い木立の間につくられた菖蒲（しょうぶ）田を、うねうねと回り込んで、井戸に着く。小振りで素朴な木桶の中に、こんこんと湧き出る水は、どこまでも透明。

その時、岩の上に立っている看板に気がついた。「井戸の中に、ものを浸さないで下さい」とある。なるほど。この小さな井戸に、ものを浸す人は、案外、少なくないのだろう。

それにしても、ジップロックを突き抜けるほどの運気を、皆に分け与えなくてはならないとは…。

パワースポットさんも、大変ね！と、その健気（けなげ）さに、思わずシュンとしてしまった。

=2016年5月17日掲載=

